

同好会報告

ハイキング同好会

平成28年度の活動報告を致します。

◆平成28年4月9日、大月市の岩殿山(634m)へ5名で花見ハイキングに行きました。JR中央本線猿橋駅に集合し駅前の見事な桜の木をバックに写真撮影後日本3大奇橋の一つ、猿橋に向かう。桂川に架かるこの橋は、江戸時代の広重の浮世絵にも描かれ橋桁のない



岩殿山

橋で奇橋と呼ぶにふさわしい景観である。のどかな風景の民家を眺めながら東登山口から登山開始低山であるがなかなかの急登、50分程で城跡に到着、桜の下で昼飯、のんびり花を楽しみながら花見酒、天神山から稚児落しコースで幾度も登り返しがありスリル溢れる鎖場ありの下山であった。

◆5月15日の山行は、日本百名山の一座天城山(1,404m)で6名の参加、人気の山だけあって駐車場と登山口前の案内板付近は沢山のハイカーで賑わっていた。登りはアセビの森を抜けヤマツツジ・アマギシャクナゲに癒されながら爽やかな山旅でした。



アマギシャクナゲ

◆6月11日、奥多摩登山の入門コースとして人気の高水山三山を3名で縦走しました。梅雨期にかかわらず晴天に恵まれ絶好の山行となりました。出発から30分で登山口の高源寺に到着、12時最初のピーク高水山(756m)に着いた、山頂直下には真言宗豊山派の高水山常福院があり高水山で証拠写真もそこそこに岩茸石山に向かい12時半に到着、若者グループとしばし山談義を楽しむ。1時間弱で最後の惣岳山に、後は下るのみと思いきや3度もアップダウンあり奥多摩特有の退屈な長い杉林を1時間半歩き御岳駅前到着、久しぶりの反省会で餃子と野菜炒めをつまみに生ビールを傾けた。



高水三山

◆7月12日、奥武蔵の棒ノ嶺山行は3人で挑んだ。有間ダムの先の登山口を目指し舗装された坂道を20分進み白谷沢登山口から沢沿いに進む、苔むす岩と清流が目を和ませる。鎖場を過ぎたらほぼ中間点であるがここから先は急登で階段と木の根の悪路に体力を奪われる。3時間で969mの棒ノ嶺山頂に着いた。13:15下山開始、来た道を岩茸石まで戻り面白くもない杉林の道をただひたすら下り16時待望のサワラビの湯で温泉に入り汗を流す。冷房のきいた畳の広間で一小時間過ごして帰途に就いた。



棒ノ嶺山

◆10月26日、3名で高崎市倉渕町のわらび平から高倉山(1,319m)に登った。登頂時間30分の短い登りだったが、翌日の浅間隱山登頂の足慣らしにちょうど良かった。その日の夜は倉渕の宿に宿泊して、翌日の



山登りの打合せをしながらキリタンポ鍋で懇親を深めた。

翌日は二度上げ峠から浅間隱山(1,753m)に登った。登頂時間は、年齢を考えて2時間を予定していたが、山慣れしていたメンバーだったためか予定よりも30分短かった。両方の山とも紅葉が真っ盛りで、目の保養をしながら山登りできた。また近隣の山々も見えて雄大な景色に心を洗われた山行だった。



浅間隱山

◆11月20日、江戸の昔から人気の大山詣でに行ってきました。参加者は11名です。晴天に恵まれ絶好の行楽日和となり、集合場所の小田急小田原線伊勢崎駅の大山ケーブル駅行のバス待ちの列は大行列で、次々に増便するバスは全て直行便でした。阿夫利神社行のケーブルは1時間半待ちの大混雑でした。



大山

◆12月21日、奥多摩の鍋割山に行ってきました。参加者は8名です。集合場所のJR青梅線の御嶽駅にはおよそ100人の登山者がおり、1台目のバスにのりきれず増便でケーブル下駅行へ到着した。大岳の商店街を進み武藏御嶽神社の登山口から10:00に登山開始、小さな祠のような奥の院をへて11:30目的の鍋割山到着、12:30大岳神社大鳥居の前にある展望台にて昼食休憩、高尾山系・丹沢山系のはるか西側の富士山の眺望は雄大であった。今回の山行は歩行時間4時間程度であったが、岩場・梯子・鎖場がありそれなりに楽しめた。



鍋割山

◆平成29年の新年山行は、山梨県大月市の秀麗富嶽十二景の一座百蔵山です。1月7日雲一つない快晴に恵まれ絶好の登山日和で、中央本線猿橋駅に6人集合。駅を出て百蔵山と扇山を眺めながら桂川に架る橋を渡る坂道を延々と30分進みようやく登山口の標識



百蔵山

に出会う、左右に分かれているので、左手の道を選択(西側に富士山を



株式会社汎建築設計事務所

代表取締役 鈴木誠一 (昭和38年建築科卒)

一級建築士
コスト管理士

秋田市保戸野すわ町14-23
TEL 018-862-3449
FAX 018-862-3289
E-mail : han_0416@cna.ne.jp
URL : http://www.cna.ne.jp/~han_0416/